

市民と市長のふれあいトーク(地域開催) 開催概要

会場 石川市民センター

日時 令和7年(2025年)8月30日(土)  
13時30分～14時30分

発言者 7名 参加者 31名

| No | 参加者発言要旨   | 市長発言要旨   |
|----|---|--|
| 1  | 市のメールは、PPAP方式という旧式の仕組みが用いられている。<br>メールを受信した際、添付ファイルを開くためにパスワードを入力する必要があり、手間がかかるので、改善してほしい。  | 市長に就任し、市のメール機能が古いと感じた。<br>組織用のメールアドレスからでなければ外部とやりとりができず、市長としての個人用メールアドレスからメールを送信しても、セキュリティの制限で相手に届かない。<br>仕組みを変えるように指示しているが、今日いただいた声も担当所管に共有させていただく。   |
| 2  | 小中学校の体育館にエアコンを設置してくれたことに感謝している。<br>小学生と比べると、中学生には放課後の居場所がない。<br>保護者が学校のことで何か行うのは難しい時代になっているので、行政に子どもたちの居場所を作ってほしい。  | 子ども達の居場所づくりが重要であることは認識しているが、小学校の高学年から中学生については、手が届いていない。<br>子ども達が安心して放課後を過ごせることは、保護者の方々の安心につながるが、地域の方々の御支援がなければできないと考えている。<br>学校施設の空き状況や老朽化などにより、学校の統廃合を実施する必要がでてきているが、それによって子ども達の居場所がなくなることがないように注意していきたい。                                   |
| 3  | 石川地域の区画整理事業は30年くらい前に始まったが、進捗率が30%程度である。<br>計画では令和41年(2059年)位に完了するとされているが、完了するのか。  | 御懸念は理解する。<br>現在市では全ての事業について見直しを行っている。長期にわたって進捗しておらず、住民の方々に御負担をおかけしている区画整理事業についても、どうするかを検討している。<br>計画変更することも、方法論としてはあり得る。<br>お住いの皆様にとって何が望ましいのか。例えば道路を通すなど、その地域で区画整理事業よりも優先すべきものがあれば、事業を切り替えることも選択肢である。<br>本日の意見を市の中で共有し、見直しをかけていきたい。         |
| 4  | 区画整理対象地の地権者は、全員の土地に道路が接続されると聞いて事業に賛成した。<br>それを途中で計画変更されると、話が変わってしまう。<br>市長の残り任期で、全体の50%くらいまで進捗するよう予算化してほしい。<br>国も都も予算があるが、市は予算がないと聞いている。<br>学校給食の無償化、体育館へのエアコン設置もできたので、次は都市計画に予算をつけてほしい。            | 区画整理事業は地権者の御理解、御協力がなければ実施できないので、行政だけで一方的に話を決めてはいけないと思う。<br>一方で、長期にわたり御負担をおかけしており、さらに50年かけるようなものではないと思っている。<br>どのようにすれば、当初皆様に御理解いただいた話と同じように進められるかを考えなければいけない。<br>市の財政は決して豊かではないが、信頼を裏切ってはいけないと思っている。<br>お話はしっかりと受け止めさせていただく。                 |
| 5  | 館町で高齢者の訪問看護を行う事業者であり、年間50件くらい、最期を御自宅で迎えたいという方の看取りを行っている。<br>病院では高齢者のベッド数が減ってきている。医療の現場だけでは対応できないので、地域の皆様と、終末期をどのように過ごしたいのか、という勉強会を行っている。<br>市の皆さんと勉強会を行うなどの形で、高齢者が望むところで亡くなるまで過ごすことができるまちづくりに貢献したい。 | 令和32年(2050年)には、市内で介護人材が2000人不足すると言われており、対策を進めている。<br>お話しいただいた勉強会も一つの方法だと思う。<br>市では、東京都医師会などと、職員も含めた勉強会を不定期に行っている。<br>これまでに行った「市民と市長のふれあいトーク」では、小規模な障害者福祉事業所へ職員と共に伺い、話を伺ったこともある。<br>市単独でできない内容であれば、市長会などを通じて国や都へ要望することができる。必要があれば声をかけていただきたい。 |

市民と市長のふれあいトーク(地域開催) 開催概要

会場 石川市民センター

日時 令和7年(2025年)8月30日(土)  
13時30分~14時30分

発言者 7名 参加者 31名

| No | 参加者発言要旨   | 市長発言要旨  |
|----|---|---|
| 6  | <p>館ヶ丘団地で防災フェアを行う。開催に先立ち、市や消防署と話をしながら自治会としての防災マニュアルを検討している。市には防災マニュアルが存在しておらず、ホームページやアプリを見るように言われたが、実際に地震が起きた時にはスマートフォンは使えなくなる。災害時の給水所の場所が分かるマップなどが記載された、八王子市のマニュアルを紙ベースで作成すると良いのではないか。</p> | <p>災害時に、どこに何があるかといったことをまとめたものは作成しているが、十分に御案内ができていないということだと思う。館ヶ丘団地で防災フェアを行うと伺ったので、PRさせていただきたい。災害時には紙でなければ、という心配は受け止めさせていただいた。お話は担当所管に伝える。</p>   |
| 7  | <p>八王子市の人口は、地域によって減少してきている。いかに小中学生や、若い世代を市の中に呼び込むか。そういった方針は市にあるのか。生徒数が減ったから学校を統廃合するというのは、誰にでもできる。八王子市を将来的にこのような人口構成にしていくため、こういう施策をしていくという方針を掲げていただきたい。</p>                                  | <p>重く受け止める。事業の見直しイコール何かをカットするということではない。人口増に向けた取組は必要。行政サービスを維持するためにも、税の確保が必要となる。住民基本台帳上、人口は減少しているが、転出者よりも転入者の方が多い。新しく生まれる方も増えている。しかし、亡くなる方が多いため、人口が減少している。高齢者の健康づくりに向けた場が必要である。また、公共交通の確保も必要である。バスの自動運転に向けた実証実験で事故が発生してしまったが、これをしっかりと検証し、何としても公共交通を確保していきたい。子育てしやすいまちに向けた取組も行っている。市長就任以来、企業誘致に向けて多くの企業を訪問した。まだ結果は出ていないが、企業を誘致し、雇用や消費を生むことで得た税収を皆様に還元したい。市内には25の大学等があり、9万人から10万人の学生が学んでいる。学生には、卒業後も八王子にいてほしい。現在、大学自体が都心回帰している。市長就任以来、大学を訪問し、学生や経営者と話をしているほか、無償で授業も行っている。市長として、結果が出せるように引き続き取り組んでいく。</p> |